



## 本日3月15日南武線ワンマン運転 ついに一方実施！！

輪軸データの改ざん  
モーターの不正検査  
ATS-P 速度誤設定  
独占禁止法違反  
2度の新幹線列車分離  
度重なるレール折損

JR東日本の企業ガバナンスは、  
本当に大丈夫なのか？

私たち JR 東日本輸送サービス労働組合横浜地本は、2023年11月に会社より「南武線ワンマン運転について」概要の提案を受け、2024年12月に解明交渉を行ってきた。しかし交渉では「検討中」「手持ちがない」「まだ回答できない」と繰り返し、全く議論が深まらなかった。その後、会社より「2025年3月ダイヤ改正」の提案の中で南武線ワンマン運転の実施時期のみが示された為、2025年1月に「南武線ワンマン運転実施に伴う詳細提案を求める緊急申し入れ」を提出したが、「提案を実施する考えはない」と対立してきた。

このままでは労使間での議論が全く成熟することなく、社員の声・利用者の声を届けることも出来ず、「南武線ワンマン運転は安全です。」と社員が自信をもってお客さまに言えないと判断し、2025年2月に「南武線ワンマン運転実施」施策の一旦中止を求める申し入れ」を提出してきた。しかし会社は「中止する考えはない」と回答、団体交渉に向き合う姿勢が不誠実であることを通告、労使合意どころか労使議論が成熟することなく、ついに本日3月15日「南武線ワンマン運転」が一方実施となった。本当に南武線の安全・安定輸送が保てるのだろうか。社友会を「経営のパートナー」と明言し、モ/言う労働組合と議論しない経営姿勢が事故事象に現れている。真摯に忸度なき意見を聞くべきだ。